



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

### ～「花さかじいさん」を鹿児島弁で 劇仕立ての読み聞かせ～ 別府中学校

別府中学校では11月13日に、読み聞かせボランティアグループ「おひさま」による、「花さかじいさん」を鹿児島弁に訳して、劇仕立てにした読み聞かせがありました。

この日は「おひさま」の5名の方々とお殿様に扮した別府中の校長先生が、体育館で全校生徒に読み聞かせを行いました。花さかじいさんが枯れ木に灰を撒くと、生徒たちが花を咲かせる役をして、みんなが劇に参加して読み聞かせを楽しみました。

枕崎市内には読み聞かせボランティアグループが7つあり、それぞれのグループが市内8つの小中学校で、月に1回程度読み聞かせ活動を行っています。

読み聞かせグループは、それぞれ次の学校で読み聞かせを頑張っています。



生徒も一緒に「花さかじいさん」の劇に参加

- おむすびの会・・・枕崎小学校と枕崎中学校
- Smile Mama Book・・・桜山小学校
- すずの音(ね)・・・桜山中学校
- のはら'S・・・別府小学校
- おひさま・・・別府中学校
- たんぼぼのわたげ・・・立神小学校
- プーたんの会・・・立神中学校

### ～12種類の「昔の道具」を体験～ 立神小学校

立神小学校では、11月5日に3年生の授業で、昔の道具を使っての体験活動・調べ学習を行い、実際に道具を使って「昔の暮らし」を体験しました。立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、立神校区の老人クラブの39名の方々に、千歯こぎ、足踏み脱穀機、唐箕(とうみ)、杵つき、石臼ひき、竹細工、めぐり棒、かつお節売りなどの12種類の昔の道具の使い方を分かりやすく教えていただきました。

昔の道具を体験するときを使う「稲わら」や「そばの実」「竹」などは、老人クラブの方々が毎年準備してくれています。

また、今年も「カツオの腹皮」や「ふかし芋」を料理していただき、おいしくいただきました。子供たちは、郷土食を食することにより、風土や暮らしの中で継承されてきた枕崎の食文化を味わうこともできました。子供たちの記憶に残る体験活動となりました。



めぐり棒をぐるぐる回して打ち付ける「そば」の実などを落とすための昔の道具



ここ掘れワンワン  
大判・小判がザックザク



竹細工で竹とんぼ作りに挑戦  
鉈で竹に穴をあけている

### ～グラウンドゴルフと給食で 高齢者とふれあい交流～ 別府小学校

別府小学校では、11月1日に4年生23名が校区内の高齢者の方々と「ふれあいグラウンドゴルフ」を行いました。高齢者の方々も子供たちとふれあうのを毎年の楽しみにしており、この日は14名の老人クラブ・高齢者学級の方々が参加してくれました。グラウンドゴルフが初めての子も多かったのですが、おじいちゃんおばあちゃんが手取り足取り優しく教えてくれて、たくさんの笑顔いっぱい、大いに盛り上がったグラウンドゴルフ大会になりました。



狙え！ホールインワン



昔の別府小の話を聞いて盛り上がる

また、11月6日には、4年生がグラウンドゴルフで交流した高齢者の方々を招いて交流給食をしました。

一緒に給食を食べながら、学校生活のこと、昔の学校の様子のことなど、いろいろなお話をすることができました。「昔は給食がなくてお弁当だったんだよ。」「給食を初めて食べました。」というお話を、子どもたちもびっくりしていました。とても和やかな雰囲気の中、給食を通して楽しい交流ができました。

### ～「大塚の花づくり」をわかりやすく授業～ 立神小学校

立神小学校では4年生の「郷土の開発に関わる話」の授業があり、「大塚の花づくり」について久木田祝保さんと園田真寛さんが講師となって、菊づくりの歴史や菊を育てて出荷するまでの苦労などについての講話がありました。

「郷土の開発に関わる話」の授業は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、地域の子供たちに地元の産業について知ってほしいということで、毎年行われているものです。



大塚の花づくりについて説明する  
久木田さん(左)と園田さん(右)

大塚の花づくりは「電照菊」で全国的に有名ですが、花を咲かせる時期を遅らせるために照明を当てています。「電照は夜の11時から5時間ぐらい行っており、現在はLEDを主に使っている」との説明がありました。

児童からの「何種類ぐらいの菊を育てていますか。」との質問には、「色や形の異なる菊を何百種類も育てている。」と答えていました。

菊の花言葉は「高貴」だとのこと。授業の最後には「現在は色鮮やかな種類の菊が一杯あるので、イベントのプレゼントに花を贈りましょう。」と子供たちに呼びかけました。

### ～金山地区の高齢者と グラウンドゴルフ交流～ 桜山小学校

桜山小学校では、11月8日に4年生22名が金山地区の高齢者の6名の方々と学校の校庭でグラウンドゴルフ交流を行いました。

4年生は5月に校外学習で金山地区を巡り、金山地区の高齢者と「金山いろはカルタ」で交流を行いましたが、その時に「グラウンドゴルフも一緒にやりましょう」と約束していたのが実現したものです。

半分くらいの子は初めてのグラウンドゴルフで、ルールや打ち方などを教わりながらプレーしました。約1時間の交流でしたが、校庭には笑い声が響き渡っていました。



打ち方を教わりながらホールポストを狙う